

寄贈図書リスト

アインシュタインの世界
 フランソワーズ・バリバル著, 佐藤勝彦監修,
 B 6 判変形, 158 p, 1400 円, 創元社, 読み物
 シェイクスピア星物語
 香西洋樹, B 6 判, 215 p, 1800 円, 講談社, 読み物

宇宙を遊ぶ
 黒田武彦, B 6 判, 221 p, 1600 円, かもがわ出版,
 読み物
 ふたたび月へ
 野本陽代, 新書, 216 p, 740 円, 丸善, 読み物
 私たちの太陽系
 宇宙科学研究所, VHS, 25 分, 3300 円, 財団法人宇
 宙科学振興会, ビデオ

月報だより

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

国立天文台太陽物理学研究系教授

1. 第 88 巻 6 号
2. 常田佐久 (東大理天文学教育研究センター)
3. 1996 年 8 月 1 日着任

国立天文台電波天文学研究系教員 (助手)

1. 第 89 巻 4 号
2. 梅本智文
3. 1996 年 8 月 1 日着任

美里天文台研究員

1. 第 89 巻 6 号
2. 川端哲也 (宇都宮大学教育学部大学院)
3. 1996 年 9 月 9 日着任

人事公募

**平成 9 年度国立天文台外国人研究員 (COE)
 候補者の推薦について**

1. 平成 9 年度外国人研究員 (COE) について, 国内公
 募を行います.
2. 平成 9 年 4 月以降に招へいをしようとする者を対象
 とします. (招へい期間については, 3 カ月以上 1 年
 以内となります.)

3. 推薦される候補者がある場合は, 国立天文台所属の
 受入れ責任者にご相談の上, 所定の申請書を作成し,
 関連資料 (略歴等・論文リスト) を添えて, ご提出く
 ださい.

公募締切: 平成 8 年 12 月 20 日 (金) 必着
 提出先及び問い合わせ先:

〒 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
 国立天文台管理部庶務課共同利用係
 TEL.0422-34-3660
 国立天文台長 小平桂一

研究会・集会案内

**第 9 回 理論懇シンポジウム “大型観測装
 置時代における理論天文学の役割”**

日時: 12 月 16 日 (月) ~ 18 日 (水)
 場所: 千葉大学けやき会館
 日程 (予定):

| | 午前 | 午後 1 | 午後 2 |
|-----------|-------|-------------------|-------------------|
| 12 月 16 日 | | X 線 γ 線(1) | X 線 γ 線(2) |
| 12 月 17 日 | 電波(1) | 電波(2) | ポスター/ 理論懇総会 |
| 12 月 18 日 | SDSS | SUBARU | |

参加申込: e-mail で rironkon-loc@tanpopo.ipc.chiba-u.ac.jp 宛て 10 月末日まで. 申込の format はメイリング
 リスト等に流しているものをお使い下さい. 発表 (口
 頭/ポスター) を希望する場合には, 上記の申込とは別
 にそれぞれのセッションの座長まで直接連絡をとって下
 さい. ポスターは, 理論天文学一般について受け付けま
 すので, 今回のセッションのテーマ以外のポスター発表
 も歓迎致します.

○口頭及びポスター発表:

| | |
|-------------|-----------------------------|
| 座長 | 電子メールアドレス |
| X線γ線 高原文郎 | takahara@phys.metro-u.ac.jp |
| 電波 観山正見 | miyama@top.mtk.nao.ac.jp |
| SDSS 須藤 靖 | suto@phys.s.u-tokyo.ac.jp |
| SUBARU 安藤裕康 | ando@optik.mtk.nao.ac.jp |

○ポスター発表のみ

| | |
|---------------|-------------------------|
| 座長 | 電子メールアドレス |
| その他 (理論天文学一般) | |
| 宮路茂樹 | miyajji@c.chiba-u.ac.jp |

詳しい情報は

URL <http://www.s.chiba-u.ac.jp/RIRONKON-LOC/> で見ることも出来ます。なお、12/19, 20の期間まで、千葉大学で引続き「数値シミュレーションによる天文学 II」研究会(科研費基盤研究(A)(1) 代表者: 富阪幸治)が行われます。

文部省科学研究費重点領域「高エネルギー天体」平成8年度シンポジウム

日時: 1996年12月18日(水)~21日(土)まで

場所: 総合研究大学院大学及び湘南国際村センター
神奈川県葉山町

電話: 0468-55-1811 (湘南国際村)

内容: パルサー, 活動銀河中心核などから高エネルギーガンマ線が観測され, X線や電波など多波長観測のデータが整いつつある状況でこれらの天体での超高エネルギー粒子の加速などの現象が明らかになりつつある。これらの超高エネルギー現象を実験的, 理論的に探るために, 科研費重点領域「高エネルギー天体」の研究が平成7年度から発足し, 今回はその2回めの研究会である。

主題は○超高エネルギーガンマ線天文学及び最高エネルギー宇宙線観測のための望遠鏡建設を行なう二つの計画研究の進捗状況などの報告, ○パルサー, 活動銀河などにおける超高エネルギー現象, ○正体不明の高エネルギーガンマ線源, ○宇宙線の起源, ○ガンマ線バーストなどその他宇宙の高エネルギー特異現象についてなどである。

参加費: 無料

申し込み期限: 宿泊を予定する場合は11月末ごろまでの連絡が望ましい

定員: 約80名

連絡先: 〒188 田無市緑町3-2-1

東京大学宇宙線研究所空気シャワー部

木舟 正

電話 0424-69-9594 ファックス 0424-62-3096

Email tkifune@icrr.u-tokyo.ac.jp

会務案内

1996年10月7日

社団法人 日本天文学会

理事長 杉本大一郎

本誌1996年3月号(ASTRO NEWS, p.124; 天球儀 p.116)で詳しくお知らせしたとおり, 林忠四郎先生は京都賞を授与されました。その機会に, 日本天文学会は先生からご寄付を頂き, 特別会計を設定しました(本誌1996年8月号, 月報だより p.369)。日本天文学会では, この特別会計で林忠四郎賞を, 同時に一般会計で欧文報告論文賞を新しく設定しました。それぞれの内規は, 本記事の末尾に掲載します。賞の内容等については, 林忠四郎賞・論文賞設定委員会で決めました。それに従って, それぞれ第1回の受賞候補者の推薦を下記のように募ります。これらの賞を権威あるものに育ていくのに, 最も大切なことは, どれだけ立派な研究に対して賞が授けられていくかということです。天文学会会員をはじめ, 関連の学識経験者からのご推薦をお願いします。

1996年度(第1回)

日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者推薦のお願い

林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し, 同博士が, 後進の天文学研究を奨励するためとして日本天文学会に寄付された金額を基金にして, (社)日本天文学会は, 日本天文学会林忠四郎賞を下記のとおり設定しました。つきましては, 受賞候補者をご推薦いただきたいので, ご協力頂きますようお願いいたします。

記

分野等: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学, 他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞: 原則として各年に1件。授賞式は本会年会の通常総会(1997年3月21日)において行う。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(20万円)。

締切等: 1996年12月20日締切。「林忠四郎賞候補推薦書」と朱書して,

〒181 三鷹市大沢2-21-1, 国立天文台内, 日本天文学会宛に郵送してください。

推薦書の形式: A4サイズの用紙に, 次の項目の順序

に、横書きしてください。

表題は「1996年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。なお、前年度と同じ推薦をなさる場合も、改めて推薦書をご提出ください。また、選考後、書類の返却を要する場合はその旨を明記してください。推薦書は下記の項目の順序にしたがって、書いて下さい。

- 1) 候補者（被推薦者、連名授賞可）について：氏名（ふりがな）、生年または大学卒業年、現職、連絡先（電話、fax も）
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、fax も）、被推薦者との関係、
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（複数可）

1996年度（第1回）

日本天文学会欧文報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

（社）日本天文学会は、良い論文が Publications of the Astronomical Society of Japan に投稿・出版されるのを奨励するため、日本天文学会欧文報告論文賞を下記のとおり設定しました。つきましては、受賞候補者をご推薦いただきたいので、ご協力をお願いします。

記

対象論文等：原則として過去3年以内に Publications of the Astronomical Society of Japan に出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者（共著の場合はすべての各共著者）に授与する。

授賞：原則として1年に2件以内。賞状を授与する。授賞式は本学会会の通常総会（1997年3月21日）において行う。

締切等：1996年12月20日締切。「論文賞候補推薦書」と朱書して

〒181 三鷹市大沢2-21-1、国立天文台内、日本天文学会宛に郵送してください。選考後、推薦書類は破棄します。

推薦書の形式：A4サイズの用紙に、次の項目の順序に、横書きしてください。表題は「1996年度欧文報告論文賞候補推薦書」としてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、著者名、所属、

出版された巻、ページ、発行年

- 2) 論文著者について：氏名（ふりがな）、連絡先（電話、fax も）
- 3) 推薦者について：氏名（ふりがな）、現職、連絡先（電話、fax も）、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨（300字以内）
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー（複数可）

日本天文学会林忠四郎賞内規

（平成8年6月1日決定）

第1条 本会は、日本天文学会会員林忠四郎博士が1995年・第11回京都賞を授与されたのを記念し、同博士からの寄付金を基金として林忠四郎賞を創設する。

2. 基金は特別会計で管理する。

第2条 林忠四郎賞は、広い意味での天文学の分野において、独創的にかつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授ける。受賞者は個人または研究グループとする。

第3条 授賞は原則として各年に1件とする。

2. 本賞として賞状を、副賞として賞牌（メダル）および賞金を併せて授与する。

3. 授賞式は本会の通常総会において行う。

第4条 受賞者の選考は選考委員会がこれを行う。選考委員会は理事長の他に5名の委員で構成する。理事長は評議員会の了承を経て、委員を委嘱する。委員の任期は本会の期に合わせる。選考委員長は委員の互選で決める。

第5条 本学会員は選考委員会に受賞候補者を推薦することができる。

2. 選考委員会は、日本天文学会以外にも、天文学に関して学識のある個人に候補者の推薦を依頼することが出来る。

3. 選考委員会は受賞候補者を選考し、選考委員長が評議員会に報告する。評議員会はその報告を尊重して受賞者を決定する。

日本天文学会欧文報告論文賞内規

（平成8年6月1日決定）

第1条 日本天文学会欧文報告に、原則として過去3年以内に掲載された論文の中から、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者

- に対し、日本天文学会欧文報告論文賞を授与する。
2. 授賞は原則として1年に2件以内とする。
 3. 受賞者には賞状を授与する。
 4. 受賞式は本会の通常総会において行う。
- 第2条 選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会がこれを兼ねる。
- 第3条 日本天文学会欧文報告編集委員会、および日本天文学会会員は、受賞候補論文を選考委員会に推薦することが出来る。
- 第4条 選考委員会は受賞候補者を選考し、選考委員長が評議員会に報告する。評議員会はその報告を尊重して受賞者を決定する。

日本天文学会早川幸男基金援助者 募集要項

日本天文学会 早川幸男基金（若手海外学術研究援助基金）内規に基づき*、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集致します。（1996年度第3期）

1. 援助金総額 年間150万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象期間 1997年1月1日～3月31日の間に日本を出発するもの、また前回の応募時に間に合わず、すでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類（A4紙に統一すること）
 原本1部、コピー5部。但し(7)、(8)についてはコピー不要。
 - (1)応募用カバーシート（89巻5号237頁の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する）、e-mailアドレスを余白に入れる。
 - (2)論文リスト
 - (3)観測については、観測割当通知および観測提案の写しか、それに準ずるもの
 - (4)国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5)研究会参加については、当該研究会開催の主旨

を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与（口頭発表等）を証明するもの

- (6)大学院生の場合、研究指導者の意見書
- (7)航空運賃の見積書
- (8)関連研究論文の写し（一編）

5. 応募締切：1996年12月10日(火)

6. 決定時期：1996年12月下旬通知します。

7. 応募書類送付先：

〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内
日本天文学会 早川基金募集係

8. なお、交付者には簡単な研究報告が求められます。

*早川基金内規（名簿巻末の定款参照）による援助対象資格は「天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費（滞在費を除く）の援助を受けない者。」です。

1996年度はこの後、3月10日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

訂正

先日発行されました「天文月報10月号」の「IAU総会来る！」において、参加登録料早期割引の日付に誤りがありました。お詫び致しますとともにここに訂正させていただきます。

| 誤 | 正 |
|---------------|----------------|
| 5月1日までは早期割引料金 | 4月30日までは早期割引料金 |
| 5月2日以降は直前申込料金 | 5月1日以降は直前申込料金 |

*実質的に影響がでるのは「5月1日到着分」のみです。
(半田利弘)

| | |
|--|---|
| 編集委員 | 関口和寛（編集長）、末松芳法、田代 信、辻本拓司、中川貴雄、林 左絵子、平野尚美、宮坂正大 |
| 平成8年10月20日 | 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 |
| 印刷発行 | 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷 |
| 定価700円（本体680円） | 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 |
| 電話（0422）31-1359（事務室・月報）5488（欧文編集）5487（FAX専用） | 社団法人 日本天文学会 振替口座 00160-1-13595 |
| 日本天文学会のホームページ | http://www.tenmon.or.jp |